

■ 法人・大学統合

- 大阪市立大との統合について、『「新・公立大学」大阪モデル(基本構想)』具体化に向けた検討、関係機関の調整を推進(112) (27年度:大学統合に向けた両大学の中期目標変更議案の可決、新大学構想会議開催)
- 統合を見据え、法人組織や業務運営、法人教職員の人事・給与制度等についての協議・調整推進(90)

■ 教育・研究の質の向上

【大学】

■ 教育内容の充実(学域)

- 文科省事業「大学教育再生加速プログラム(AP)」による教育改革の推進(5)
 - ・タブレット端末や独自作成コンテンツを活用した、反転学習などのアクティブラーニングの普及
 - ・初年次教育へのルーブリックの導入など、適正な成績評価方法の検討
- 学域等の検証(4、5、7)
 - ・現代システム科学域におけるより教育効果の高いカリキュラムの検討
 - ・既存の副専攻(7カリキュラム)について、学生調査を分析し、質の向上を図る
 - ・「地域再生(CR)」[大学COC事業(大阪市大と共同)、大学COC+事業]の提供 (27年度:延べ受講者数291名) 大学COC+事業に基づき、29年度からの科目提供に向け、和歌山大学を中心に単位互換協定を締結
- 各種学生調査の実施と活用(4、14、36)
 - ・1年生・上級生(3年生)調査、卒業・修了予定者調査、卒業生・修了生調査(卒業・修了後5年)を他大学と共通で実施
 - ・教育改善や学域制導入の効果検証に、成績評価に紐付いた学生調査の分析結果を活用
- 学習支援の推進(5、6、15、32)
 - ・「アカデミック・ライティング入門:レポートの書き方」の冊子を新入生全員に配布。初年次ゼミナールで活用(リポジトリ登録)
 - ・ラーニングcommonsへのTA配置、貸し出しパソコンの充実等、自主学習環境の向上

■ 教育内容の充実(大学院)

- ◎共通教育科目開設を含めたカリキュラム整備(9)
 - ・大学院共通教育科目の開設(H28年度、博士前期6科目・後期6科目)。
 - ・大学院共通教育科目「研究公正」は博士前期・後期の1年生を対象とした必修科目として開講。高い倫理観を養成
- 産業界を牽引する人材の輩出
 - ・府大TEC、地域・産業牽引型ドクター育成プログラムなどの推進(10、35)
 - ・府大TECは、大学院共通教育科目として全学に普及 (H27参考:博士前期451名、博士後期52名が受講)
 - ・文科省事業「グローバルアントレプレナー育成促進事業(EDGE)」による起業家マインドの育成(35)
 - ・文科省事業「課題解決型高度医療人材養成プログラム」の実施(5、21)
 - ・医療関係者を対象とした履修証明プログラム8講座(e-learning教材とスクーリング授業、計120時間)を開講
 - ・総合リハビリテーション学類生を対象に「在宅リハビリテーション」に係る科目を開講
 - ・文科省省「国際原子力人材育成イニシアティブ事業」を活用した放射線知識普及、原子力人材育成(42)
- リーディング大学院「システム発想型物質科学リーダー養成学位プログラム」(大阪市大と共同)の推進(中間評価)(10、16)
 - ・企業と連携したカリキュラムを充実。博士後期課程進学者の増加を図る
- 英語による授業の拡充、海外学会や留学への派遣支援(11,55)
 - ・工学研究科における英語のみで修了できるコースをはじめ、各研究科での英語での授業・論文指導の充実。ベトナム・ハロン湾での環境活動演習(工学)、海外へのスタディツアー(人社・地域保健学域)の継続実施
 - ・タイ・マヒドン大学へのエクステンジ・プログラム(看護)を正規科目として実施
- 成績評価、カリキュラムの適正化の推進(12)
 - ・シラバスへの授業目標、成績評価の基準を明示。学位論文審査基準の周知・公表。3つのポリシーとカリキュラム内容の整合性の確認
- ◎現代システム科学専攻の開設(16、20)
 - ・現代システム科学域に対応する大学院として設置する現代システム科学専攻の第1期生受入。(27年度:入学定員25名,志願者81名,合格者46名)
 - ・博士後期課程の設置準備

■ 教育・研究の質の向上

【大学】

■ 学生支援の充実

- キャリアデザイン構築に向けたインターンシップ科目などの充実(5,10)
- ◎後援会と連携した、優秀な学生を獲得するための府大独自の奨学金制度の設立(29)
- 障がい学生支援の全学的支援の展開(34)
 - ・障害者差別解消法施行を踏まえた、全キャンパスにおける障がい学生への合理的配慮の円滑な提供(27年度:ガイドライン策定、アクセスセンター(全学的支援拠点)を設置)
- 学生の安全管理の充実(109,110)
 - ・大規模災害対策:各種研修・班別訓練の実施、地域住民と連携した訓練の検討、安否確認システムの周知
 - ・学研災・学研賠:全員加入を目標 (参考:新入生全員が加入済、在学生(新入生除く)加入率 56.3%(2月末時点))

■ 国際化の推進

- ◎大阪府立大学グローバル化戦略に基づきアクションプランを構築(54)
- 国際交流会館を活用し、地域とも連携した交流事業の推進(30、54)
 - ・異文化交流行事や学生企画イベントなどの開催
 - ・留学生と日本人学生の共同生活による国際理解、交流促進
- 外国人留学生受け入れや、学生の海外留学(派遣)の促進(1、2、54、55、56)
 - ・文科省「トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム」などへの応募を促進
 - ・自治体や企業と連携した事業の推進
 - ・泰日工業大学留学生支援事業(インターンシップ生受入)、堺・アセアンウィーク等
 - ・外国人学生受入のための広報活動強化。海外同窓会開催支援、海外在住同窓生のネットワーク構築
 - ・外国人招へい教員事業を継続実施し、教育とキャンパスの国際化を推進
 - ・学士課程におけるダブルディグリープログラム等の拡充
 - ・工学域における「ユニバーサル人材認定プログラム」の開始(5)
 - ・受入留学生数目標 300名 (27年度:目標280名、実績284名(3月末時点))
 - ・学生海外派遣数目標 180名 (27年度:目標170名、実績171名(3月末時点))

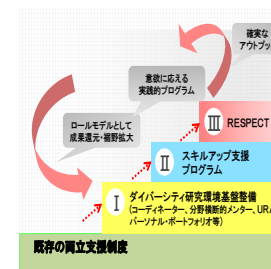
■ 研究水準の向上

- イノベーションにつながる先端的分野の研究推進(17、38、39)
 - ・キープロジェクトを選定し、その支援を実施
- 異分野研究の発掘と研究グループへのサポートの充実(17、18、95)
 - ・インセンティブ研究費の支給、コーディネーター・URAによるサポート、科研費(総合系)への申請支援等を実施
- 女性、若手、外国人研究者など優れた人材を確保・育成する支援事業(83)
 - ・テニュア・トラック制度を文系教員にも拡大し、継続
 - ・文科省事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ」の実施
 - ・異分野融合・共同研究の女性研究リーダーの育成、上位職へ就くための支援など、産学官連携に強みを持つ本学の特色を踏まえた取組を推進
- 地域連携研究機構 植物工場センター、BNCTセンターの活用(44、53)
 - ・企業コンソーシアムとの連携による実証事業を展開

【高専】

■ 教育内容の充実

- 大学と連携した、特別講義や研究室見学、特別推薦入学の実施(68)
- 国際化の推進(59、61)
 - ・海外インターンシップの拡充 ・泰日工業大学からの留学生受入
 - ・神戸市立高専とニュージーランドへの短期留学の共同実施
- 本科新カリキュラムの検証・評価など教育改善活動の推進(60、62、65、68、71)
 - ・ティーチング・ポートフォリオ作成推進、学外への普及の推進
 - ・長期インターンシップによる研究成果の外部評価や本科・専攻科の連携等の取組推進
 - ・本科新カリキュラムの検証・評価



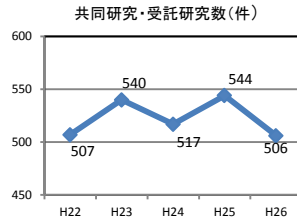
女性研究者リーダー育成の取組み

■ 地域貢献の推進

【大学】

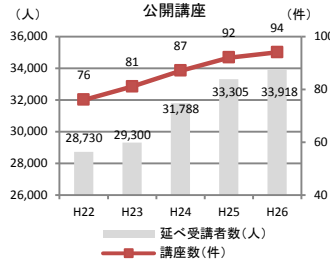
■ 産業活性化への貢献

- 中小企業等のものづくり力向上の支援方策の充実(37, 39)
 - ・ものづくりイノベーション研究所、URAセンターを中心とした中小企業支援戦略の推進
 - ・経産省「オープンプラットフォーム事業」による導入機器を活用し共同研究を実施
 - ・経産省中小企業庁「ものづくり補助金」の獲得支援
- 産業活性化への貢献(37)
 - ・共同研究・受託研究数目標500件(27年度:目標490件、実績456件(2月末時点))
 - ・近隣エリア企業に対する技術相談件数の増加



■ 生涯教育の拠点化

- 生涯教育の拠点I-siteなんばの活用(21, 42, 103)
 - ・経済学研究科の社会人教育の展開、夜間・休日の公開講座の拡充・開設
- 公開講座の充実と履修証明プログラム制度の整備
 - ・公開講座目標数 100講座(41)
(H27参考:目標数95講座、実施105講座、延べ受講者数精査中(3月末時点))
 - ・履修証明プログラム「地域リハビリテーション学コース」の開講(10, 21)
 - ・前期に2期生、後期に3期生を募集。
1年間8講座(計120時間)のプログラムを提供(H27参考:第1期生25名)
 - ・教育福祉研究センターによる、教育・研究成果の発信(21)
 - ・教員および福祉専門職を中心とした、社会人に対するリカレント教育と、教育福祉的アプローチの周知を推進
 - ・府内高校との連携、高校生を対象とした高大連携出張講義の実施(46)
 - ・地域と連携した小中高生への理科教育の提供(28, 46)
(「子どもサイエンスキャンパス」、「なかみず科学の泉」、附属教育研究フィールドを活用した体験学習 など)



■ 市民のシンクタンクとしての機能の充実

- 地域志向の学生の養成(40, 51)
 - ・自治体等との連携による大学COC事業「地(知)の拠点整備事業」(大阪市大と共同)の推進
 - ・「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業」(COC+)推進(幹事校:和大)
 - ・和歌山県内の大学や大阪市大と連携、CR副専攻の提供に向け体制構築
 - ・CR副専攻による自治体等と連携した学外実習の推進及び成果の分析・発信
- 自治体、研究機関との連携事業の推進(40, 44, 50)
- 放射線研究センター、植物工場研究センターなどでの人材育成事業の推進(42, 44)

【高専】

- 大学と共同設置した産学連携オフィスの運用(67, 77, 78)
- 地域ニーズに応えられる研究等の推進(44, 66, 77, 78, 79)
 - ・大学、府立産総研、在阪企業との連携によるプロジェクト研究の推進
(JST委託事業「SIP(戦略イノベーション創造プログラム)インフラ維持管理・更新・マネジメント技術」プロジェクト等)
 - ・寝屋川市との包括連携協定に基づく「ワガネヤガワ高専プロジェクト」の拡充
 - ・社会人向け公開講座の開催、リカレント教育の推進
- 小中学生を主な対象とした公開講座等の実施(80)
 - 公開講座目標数 10回 (H27参考: 14講座(3月末時点))

■ 業務運営の改善・充実

■ 第3期中期計画の策定

- ◎第3期中期計画の検討・策定(81)
- ◎次期施設整備プランについて検討・策定(106)

■ 組織運営の改善

- 役員体制の再編と戦略的な意思決定(81)
- 教員組織のあり方検討(88)
- 教職協働の観点からの、法人組織の検討や業務見直し(90)
- 教職員数削減、府派遣職員数削減、法人職員化の推進(89,93)
 - ・府派遣職員 H27 20名→H28 19名(うち大学 15名→17名)
 - 大学 H28・中期計画目標 教員数637名、職員数160名(府派遣職員15名)
 - H27目標(H28当初) 教員数640名、職員数160名(府派遣職員16名)
 - H26実績(H27当初) 教員数662名、職員数159名(府派遣職員15名)
 - 高専 中期計画目標 教員数70名 達成済(職員数12名)
- 法人職員の専門性を身につけるための研修の実施(89)
- ◎研究支援機関への派遣など人事交流の推進(89)

■ 認証評価の受審及び情報の共有と活用

- 認証評価の受審と自己点検・評価の実施(100)
- データの有効活用、共有化(4,14,82,100,101)
 - ・認証評価及び自己点検・評価を通じた各種データの把握、共有化の推進
- 利用者視点に立った情報システムリプレースの実施(87)

■ 自主財源の獲得強化

- 外部研究資金の確保(95)
 - ・異分野融合研究の促進と、複合・融合化する大型の外部研究資金の獲得支援
- 府立大学基金「世界に翔けつばさ基金」による寄附金獲得(95)
- 学舎や施設・設備の有効利用手法を検討(97)
 - ・ルール整備や学内料金化(スペースチャージ制)の検討・導入
- 適正な利用者負担の推進(95, 97)
 - ・水道光熱費の改定に合わせた施設賃付料の改定を毎年度末に実施
 - ・大学保有施設の学外利用・料金化の促進
- 主要な新規及び継続事業についての事業評価、経費抑制を推進(99)

■ 情報発信力強化とブランド力の向上

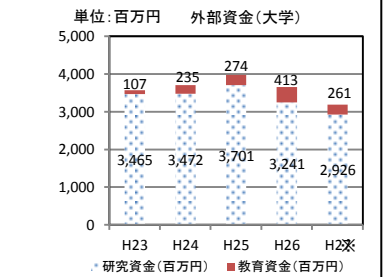
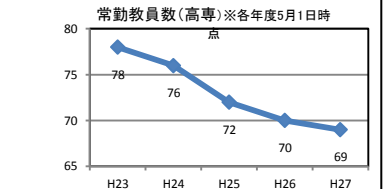
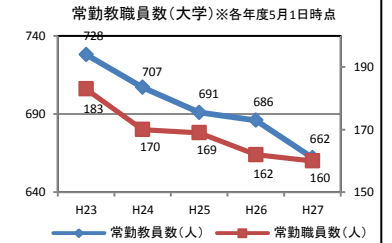
- 中期広報計画(H26改定)に基づく認知度向上とブランド力強化(103)
 - ・情報発信の多様化等に対応したWebサイトのリニューアル
 - ・日本語及び英語によるソーシャルメディアを活用した情報発信
 - ・記者懇談会を開催し、本学の研究成果をPR
 - ・卒業生向けメルマガ、在校生向け広報誌MICHITAKEの発信

■ 危機管理体制の充実

- 実効性のある訓練の実施と段階的な飲食料等備蓄などの取組の推進(109)
 - ・各種研修や班別訓練の実施、地元自治体や地域住民と連携した訓練の検討
 - ・防災マニュアルを在学生に配布、安否確認システムの周知

■ コンプライアンスの強化

- 研究公正および研究費不正防止の取組みを推進(91)
- 作問・採点プロセスの検証結果に基づく、入試ミス再発防止のための改善方策の実施(91)
- 情報セキュリティの確保方策の検討、実施(87, 91)



※H27は2月末までの参考値:
教育資金 16件、研究資金 1,390件

